

## 新県立中央図書館整備に関するアンケートに対する回答

1. 県のホームページに発表されている「新県立中央図書館整備計画」は、新たな生活様式の時代を見据えつつ、県立図書館の基本と市立図書館を支援する県立図書館の役割が良く整理された計画だと思います。関連して次のことを伺います。

その1. 「新県立中央図書館整備計画」についての考えをお聞かせください。

幅広い県民ニーズに応える次世代型の新館建設を推進するため、建設計画に盛り込む内容には、

(1) 全体像は本県を代表する「知と学びの象徴」として県民に誇りと風格のある施設を目指すこと。そして、県産材の活用等、本県の独自性を活かし、人づくり、まちづくりに資するメッセージを兼ね備えた国内最高水準の機能を有すること。

(2) 図書館機能は、①レファレンスサービス（情報・資料の検索・提供・提案業務）の充実。②県民の利便性向上。③「ポスト・コロナ」を見据えたデジタルトランスフォーメーション化の推進。④「交流スペース等」の活用。⑤その他として、リモートアクセスの充実。障がい者が利用しやすい施設環境および図書館業務への障がい者の働く機会の提供。グランシップとの相互連携。大学連携を始め、幼、小、中、高、専門学校等と連携し学びの進化を図ることなどを考えています。

その2. 運営形態は指定管理者等の外部委託ではなく、根幹機能は県教育委員会による直営を維持しますか。

運営方法は直営が良いと考えていますが、行政以外の幅広い見識も必要と思われることから、館長の公募や外部人材の登用について検討していきたいと思っています。

その3. 設計者及び設計者審査員は、「新県立中央図書館整備計画」に沿って、職員や利用者からの意見を十分に反映させることができる人選を考慮されますか。

建設実施計画は、コロナ禍による財政状況の悪化も懸念されますが、図書館は

県民にとって普遍的な財産であることを意識すべきで、県民を始め幅広くデザインや機能についてアイデアを募ることが望ましいと考えます。そのほか、県産材の活用や県内企業の参画を積極的に図ることなどを考えています。

その4. 現在の施設よりもかなり面積が広がる新館には、県立図書館の使命を果たしうる十分な資料が継続して必要です。また資料が豊富であることが利用者増になります。資料費についてのお考えを聞かせてください。

資料費を県予算として確保することはもちろんのこと、クラウド・ファンディング等を活用した寄付や蔵書の提供を検討したいと思います。

その5. 静岡県立中央図書館では、昨年度から図書館専門職としての司書採用が復活し、全国的に注目・評価されています。図書館専門職制度による専門職（司書）の採用・養成についてお考えを聞かせてください。

司書は「その1」で触れた、レファレンスサービスの充実のために不可欠であり、前向きに検討します。その他、ボランティアスタッフの参画等の「図書館サポーター制度」の創設と充実を図ることを提案します。

2. 公文書館の設置についてお伺いします。

公文書館は、県民の共有財産としての行政文書を保存・公開し、行政の説明責任を果たすための機関であり、欧米ではその存在は民主主義を支える根幹といわれています。今後、公文書館を設置するお考えはありますか。

これまでに歴史的公文書などが公開できる仕組みはありますが、本来の公文書館機能の一部でしかありません。公文書館の設置については、必要性について認識しており、今後さらに検討を深めたいと考えています。

以上

令和3年6月5日

回答者 県知事候補者 岩井茂樹